

県立広島大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

[illegible]

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和6年12月17日（火）オンライン
実地視察大学：県立広島大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○貴学としての教員養成に対する理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めていただきたい。

○「大学における教員養成の原則」の趣旨を踏まえ、理論的な教育だけでなく、実践的な教育についてもバランスよく行う必要があるため、実務家教員をより活用した教員組織について検討いただきたい。

○公立大学における教員養成を地域に還元していくために、より大学内の連携を密に行っていただき、全学的な教職課程の運営に努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○シラバスについて、コアカリキュラムに示されている内容が学生に明確に分かるよう見直しを求める。また、シラバスの内容が教職課程コアカリキュラムを踏まえた内容となっているか確認する体制の構築に努めていただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○教育実習について、担当教員が学生に対し訪問指導を行っていることが確認できた。

○教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めることを検討いただきたい。

○実習生の指導記録等の充実について、実習校からの意見も取り入れつつ、全学的に取り組むことを期待したい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 学生の将来に繋がる教職指導について、履修カルテ等の個々の取組については確認できたが、今後、全学の体制の更なる充実を期待したい。
- ICT の活用に係る授業実践等の課題に対して改善されるよう、引き続き努めていきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 今後、近隣の学校における実習先の確保なども含め、地元教育委員会との連携を進めていくことを検討していきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備の環境について、概ね良好に整備されていることが確認できた。
- 教職研究室について、学生の学習スペースとして開放するだけでなく、教科書を始めとする教職関連の書籍を多数整備している。今後は、特定の学科等だけでなく、教職を目指す学生全体の学びの場として活用されることを期待する。

7. その他特記事項

- 教育実習を行う学生が作成した指導案を毎年まとめ、これから教育実習を行う学生へ参考として配布する等、学生の学びの支援につながる工夫を行っている。
- 3キャンパスにおいて開設されている教育の基礎的理解等の科目に係る共通開設の考え方について、教職課程認定基準に準拠した開設形態になっているか確認を要する。